

「第4次子どもの読書活動推進計画」策定に伴うアンケート関連項目一覧

1 基本方針	2 視点	3 凡例	④事業・施策	5 方法	6 アンケート対象	7 項目	8 設問の主旨	9 設問を設けた理由	10 設問項目
3図書館、家庭、地域、学校等における子供への読書に親しむ機会と環境の整備・充実	③デジタル社会に対応した読書環境の整備	×	子供の発達段階に応じ、ICT環境の整備	3000人無作為抽出		①	保護者の電子書籍に関する意識	電子書籍の選書の充実 利用を増やす	(1)子供に電子書籍を与えたいか (2)与えたいジャンルは何か
	4子供の読書活動に関する啓発と情報提供の充実	◎	「りんごの棚」関連事業				②	りんごの棚の周知度と利用度	りんごの棚の内容の充実 りんごの棚の活性化をはかる手立ての検証
1子供が読書に親しむための推進体制の整備・充実	①不読率の低減	○	集会行事(クリスマス会)	イベント参加者 参加者共通質問	イベント参加者	③	読書イベントのさらなる活性化 読書イベント内容の充実 読書推進への効果 ※読書イベントアンケート項目を共通にする	読書イベントの内容を充実させる 読書イベントと将来にわたる読書習慣との関連性の検証	(1)このイベントで楽しかったことは何か。 (2)このイベントでやってみたいプログラムはあるか。 (3)他にやってほしいイベントはあるか。 (4)読書パスポートは使っているか(どこを?) (5)本を読むのは好きか。 (6)図書館をよく利用するか(どこを?) (7)図書館を楽しくするにはどうしたらいいと思うか
3図書館、家庭、地域、学校等における子供への読書に親しむ機会と環境の整備・充実	④子どもの視点に立った読書活動の推進	◎	一日体験図書館員 高校生のおはなし会						多 年 に わ た る 調 査 に よ り 推 移 を 検 証
	①不読率の低減	○	読書パスポート事業	ボランティア	⑤	赤ちゃんに本を読んでいると答えている保護者の比率、及び読み聞かせを行っている人の把握	乳幼児から読み聞かせを行う保護者の実態を数値で把握	(1)赤ちゃんに本を読んでいると答えている人はだいたい何割くらいか (2)赤ちゃんへの読み聞かせは誰が本を行っているか	
1子供が読書に親しむための推進体制の整備・充実	①不読率の低減	○	ブックスタート事業					保護者	⑥
		○	おやこでえほんサロン	学校 関 連 調 査	⑦	学校が学校図書館支援員に期待する業務	今後の「学校図書館支援員研修」の内容の充実		
	②多様な子供たちの読書機会の確保	○	司書教諭・学校図書館支援員研修会への講師の派遣や助言					指導課・学校	⑧
		○	市全体の図書購入費を効果的に使う	⑨	調べものの本の団体貸出と学校図書資料費との相関関係	学校図書館が情報センターとして機能するために学校団体貸出は役立っているのかの検証	団体貸出を使っている学校は、図書購入予算をどんな資料に充てているのか		
	③デジタル社会に対応した読書環境の整備	★	図書館・司書教諭・学校図書館協議					⑩	調べものの本の団体貸出と学校図書資料費との相関関係
		○	読み聞かせボランティア連絡会の開催	個別 ボランティア	⑫	ボランティアの活性化	ボランティア(読み聞かせ・文庫)の活性化		
	①不読率の低減	★	学校と図書館の図書館システムの統一					指導課・学校	⑬
			集団向け電子書籍の提供	⑭	学校の意向(アンケート以外の方法でも)	図書館と学校図書館システムの統一により、図書館資料を学校で効率的に使うことの意向はどうか			
	3図書館、家庭、地域、学校等における子供への読書に親しむ機会と環境の整備・充実	①不読率の低減	○				「あつぴいぶっくる本のセット」事業	指導課・学校	⑯
				「えほんあつぴいぶっくる本のセット」事業	保育所	⑰	「えほんあつぴいぶっくる」の利用方法		
②多様な子供たちの読書機会の確保	◎	「学校の授業をきっかけに読書が広がる本のセット」事業	事業 ご と に 個 別 調 査	学校の読書をきっかけに読書がひろがる本のセット				⑱	「学校の授業をきっかけに読書が広がる本のセット」の利用方法
		多様な子供たちの読書に関する講座			特別支援学級	⑲	支援学級やに対する図書館の支援の方法		
③デジタル社会に対応した読書環境の整備	★	中高校生をターゲットとした電子資料の収集	市内の高校生2年生	⑳				yyコーナーの活性化＝読書推進に繋げる	上尾の中高校生の実態把握 yyコーナー(電子書籍を含む)の活性化
4子供の読書活動に関する啓発と情報提供の充実	◎	「りんごの棚」関連事業			りんごの棚利用者	㉑	りんごの棚の周知度と利用度		